

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月22日

上場会社名 株式会社 安川電機

上場取引所 東 福

コード番号 6506 URL <http://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 利島 康司

問合せ先責任者 (役職名) 東京総務部広報グループ長 (氏名) 林田 歩

四半期報告書提出予定日 平成22年2月2日

TEL 03-5402-4564

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年3月21日～平成21年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|---------|-------|---------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 150,554 | — | △11,033 | — | △10,553 | — | △8,161 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 272,379 | △0.9 | 20,224 | △19.3 | 19,488 | △23.4 | 9,807 | △32.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | △32.43 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 38.96 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 225,560 | 90,056 | 37.8 | 338.53 |
| 21年3月期 | 249,111 | 102,421 | 39.0 | 385.60 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 85,201百万円 21年3月期 97,068百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 6.50 | — | 6.50 | 13.00 |
| 22年3月期 | — | 1.50 | — | | |
| 22年3月期 (予想) | | | | 1.50 | 3.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|--------|---|--------|---|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 228,000 | △34.9 | △6,500 | — | △6,500 | — | △5,000 | — | △19.86 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 252,331,938株 21年3月期 252,331,938株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 649,313株 21年3月期 596,451株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 251,709,088株 21年3月期第3四半期 251,723,513株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年3月21日～平成21年12月20日）における当社グループを取り巻く事業環境は最悪期を脱し、徐々に回復基調にあります。

しかしながら、主要顧客である自動車業界の設備投資抑制の継続や、当期後半の急激な為替円高の進行等の影響もあり、本格回復までには至っておりません。

このような環境に打ち勝つべく、当社グループは以下の施策を実施してまいりました。

- ・ACサーボモータ、インバータ、産業用ロボット等の主力商品における、有望市場開拓と既存市場でのシェア拡大
- ・トップ率先の営業促進や、潜在需要の大きな顧客への提案による受注拡大
- ・技術開発のスピードアップとシステム対応力強化による新商品の提案の加速
- ・有望市場である中国や新興国への迅速な拡販
- ・コストダウン徹底による圧倒的な価格競争力の実現、及び効率的な生産体制の確立

以上の施策の効果と経済環境の緩やかな回復により、受注面では、モーションコントロールセグメントを中心に、中国・アジア市場向けが改善しており、国内市場向けも回復の兆しがみえてきております。

一方、損益面では、引き続き即効性のあるコストダウン強化や経費削減の徹底に努めましたが、売上減少の影響をカバーするまでには至りませんでした。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間（平成21年3月21日～平成21年12月20日）における業績は、売上高1,505億54百万円（前年同期比44.7%減）、営業損失110億33百万円（同312億58百万円減）、経常損失105億53百万円（同300億41百万円減）、四半期純損失81億61百万円（同179億68百万円減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間（平成21年3月21日～平成21年12月20日）におけるセグメント別の状況はつぎのとおりです。

各セグメントの主要製品につきましては、6ページ〔ご参考〕をご覧ください。

| セグメントの名称 | 売上高 (前年同期比) | 営業損益 (前年同期比) |
|-------------------|---------------------------|---------------------------|
| モーションコントロール | 733億00百万円 (571億75百万円減) | △42億23百万円 (168億29百万円減) |
| ロボット | 375億16百万円 (532億44百万円減) | △77億80百万円 (130億24百万円減) |
| システムエンジニアリング | 251億67百万円 (46億36百万円減) | 19億63百万円 (5億45百万円増) |
| 情報 | 104億12百万円 (52億15百万円減) | △9億76百万円 (14億22百万円減) |
| その他(物流サービス、人材派遣等) | 41億56百万円 (15億52百万円減) | △95百万円 (6億8百万円減) |

〔モーションコントロール〕

ACサーボ・コントローラは、半導体業界や電子部品実装業界向けや、中国・アジア向けで回復がみられています。

インバータは、いち早く回復を示した中国をはじめ、アジア・米国も回復基調にあることから、当期後半に至り、前年同期実績に近づいてきております。

〔ロボット〕

主要顧客である自動車業界では、国内での生産回復がまだ設備投資再開に至っておらず低水準に止まっておりますが、中国・アジア等の地域で投資案件が増加するなど、回復に向けた兆しもみられつつあります。

〔システムエンジニアリング〕

鉄鋼業界向けを中心に比較的堅調に推移いたしました。

〔情報〕

企業の収益状況が悪化する中、情報関連設備投資も抑制されており、需要が低迷いたしました。

※なお、前年同期比数値につきましては、ご参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比235億50百万円減の2,255億60百万円となりました。

これは、受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が前連結会計年度末比203億58百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末比158億11百万円減少したこと、及び長期借入金の前連結会計年度末比70億47百万円増加したこと等により、負債合計は、前連結会計年度末比111億85百万円減の1,355億4百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金が前連結会計年度末比119億12百万円減少したこと等により、純資産合計は、前連結会計年度末比123億64百万円減の900億56百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比102億9百万円増の208億39百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、65億56百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失130億75百万円、売上債権の減少233億19百万円、仕入債務の減少153億87百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、45億13百万円の支出となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出38億9百万円、投資有価証券の取得による支出5億29百万円等であります。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、20億43百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、81億93百万円の収入となりました。これは、主として長期借入金による調達103億10百万円、及び短期借入金の増加19億62百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月16日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。なお、平成21年12月21日から平成22年3月20日までの期間における為替レートは、平均90円/米ドル、平均120円/ユーロを想定しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末あるいは第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失がそれぞれ650百万円増加し、税金等調整前四半期純損失が2,789百万円増加しております。また、一部の製品及び原材料の評価方法について、従来、半期総平均法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法に変更しております。この変更は、製造費用の一時的な変動による在庫評価への影響を排除し、期間損益計算をより適正に行うためであります。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

③第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、期首利益剰余金が1,330百万円減少しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

〔ご参考〕 セグメント別主要製品

| セグメント及び主要製品 |
|--|
| <p>〔モーションコントロール〕 ACサーボモータ・制御装置、汎用インバータ、 工作機械用AC主軸モータ・制御装置、 リニアモータ・制御装置、DCサーボモータ・制御装置、 高速モータ、小形精密モータ、複合モータ、 省エネモータ・インバータ、高周波インバータ、 プログラマブルコントローラ、マシンコントローラ、 NCシステム、ビジョンシステム、その他</p> |
| <p>〔ロボット〕 アーク溶接ロボット、スポット溶接ロボット、 塗装ロボット、ハンドリングロボット、 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット、 特殊アクチュエータ、クリーン・真空内搬送システム、 ロボット応用FAシステム、 医療・福祉サービスロボット、その他</p> |
| <p>〔システムエンジニアリング〕 鉄鋼プラント用電機システム、 上下水道用電機計装システム、道路設備電源システム、 環境プラント用電機システム、パワーメカトロシステム、 港湾荷役用クレーン制御システム、 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム、 システム情報制御機器、中容量高圧インバータ、高圧開閉装置、 コントロールセンタ、システム用制御盤、 電力用配電機器、永久磁石内蔵形回転機、 中大形誘導電動機、中形発電機及び発電装置、 その他産業用回転機、その他</p> |
| <p>〔情報〕 フロッピーディスクドライブ、 二次元コードマーキング・読取装置、 情報処理ソフト及びサービス、OA機器、その他</p> |
| <p>〔その他〕 物流サービス、人材派遣、その他</p> |

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月20日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,969 | 10,794 |
| 受取手形及び売掛金 | 61,429 | 88,136 |
| 商品及び製品 | 31,025 | 37,365 |
| 仕掛品 | 7,522 | 6,353 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,465 | 10,985 |
| その他 | 20,678 | 16,478 |
| 貸倒引当金 | △1,376 | △1,041 |
| 流動資産合計 | 148,714 | 169,073 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 37,204 | 39,871 |
| 無形固定資産 | 5,119 | 6,824 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 35,064 | 34,464 |
| 貸倒引当金 | △542 | △1,122 |
| 投資その他の資産合計 | 34,522 | 33,341 |
| 固定資産合計 | 76,845 | 80,037 |
| 資産合計 | 225,560 | 249,111 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月20日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月20日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 38,440 | 54,252 |
| 短期借入金 | 30,227 | 27,609 |
| 役員賞与引当金 | 19 | 60 |
| その他 | 21,375 | 26,025 |
| 流動負債合計 | 90,063 | 107,948 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 12,333 | 5,285 |
| 退職給付引当金 | 31,729 | 32,034 |
| 役員退職慰労引当金 | 261 | 266 |
| その他 | 1,117 | 1,155 |
| 固定負債合計 | 45,441 | 38,741 |
| 負債合計 | 135,504 | 146,689 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 23,062 | 23,062 |
| 資本剰余金 | 18,681 | 18,681 |
| 利益剰余金 | 49,071 | 60,983 |
| 自己株式 | △406 | △357 |
| 株主資本合計 | 90,408 | 102,369 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 715 | △113 |
| 繰延ヘッジ損益 | △21 | △67 |
| 為替換算調整勘定 | △5,901 | △5,119 |
| 評価・換算差額等合計 | △5,207 | △5,301 |
| 少数株主持分 | 4,855 | 5,353 |
| 純資産合計 | 90,056 | 102,421 |
| 負債純資産合計 | 225,560 | 249,111 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 150,554 |
| 売上原価 | 118,648 |
| 売上総利益 | 31,905 |
| 販売費及び一般管理費 | 42,939 |
| 営業損失(△) | △11,033 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 49 |
| 受取配当金 | 222 |
| 雇用調整助成金 | 882 |
| その他 | 750 |
| 営業外収益合計 | 1,903 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 537 |
| 持分法による投資損失 | 295 |
| 為替差損 | 390 |
| その他 | 199 |
| 営業外費用合計 | 1,422 |
| 経常損失(△) | △10,553 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 45 |
| 特別利益合計 | 45 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 109 |
| たな卸資産評価損 | 2,138 |
| その他 | 319 |
| 特別損失合計 | 2,567 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △13,075 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 658 |
| 過年度未払法人税等戻入額 | △139 |
| 法人税等調整額 | △5,117 |
| 法人税等合計 | △4,598 |
| 少数株主損失(△) | △314 |
| 四半期純損失(△) | △8,161 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △13,075 |
| 減価償却費 | 5,772 |
| たな卸資産評価損 | 2,138 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △249 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △325 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △4 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 63 |
| 受取利息及び受取配当金 | △271 |
| 支払利息 | 537 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 23,319 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 4,916 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △15,387 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △579 |
| その他 | △626 |
| 小計 | 6,227 |
| 利息及び配当金の受取額 | 451 |
| 利息の支払額 | △529 |
| 法人税等の支払額 | △2,489 |
| 法人税等の還付額 | 2,897 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,556 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △3,809 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 98 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △529 |
| その他 | △273 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,513 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,962 |
| 長期借入れによる収入 | 10,310 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,938 |
| 配当金の支払額 | △2,015 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △116 |
| その他 | △7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 8,193 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △114 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 10,122 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,629 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 87 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 20,839 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)

(単位:百万円)

| | モーション コントロール | ロボット | システムエンジ ニアリング | 情報 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|--------------------------|-----------------|--------|------------------|--------|-------|---------|--------|---------|
| 売 上 高 | 73,300 | 37,516 | 25,167 | 10,412 | 4,156 | 150,554 | — | 150,554 |
| (1)外部顧客に対する売上高 | | | | | | | | |
| (2)セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 4,149 | 328 | 1,126 | 1,318 | 2,835 | 9,758 | △9,758 | — |
| 計 | 77,450 | 37,845 | 26,293 | 11,731 | 6,992 | 160,312 | △9,758 | 150,554 |
| 営 業 利 益 又は営業損失(△) | △4,223 | △7,780 | 1,963 | △976 | △95 | △11,112 | 78 | △11,033 |

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)

(単位:百万円)

| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|--------------------------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 売 上 高 | 88,182 | 19,906 | 17,484 | 24,980 | 150,554 | — | 150,554 |
| (1)外部顧客に対する売上高 | | | | | | | |
| (2)セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 21,233 | 231 | 105 | 1,855 | 23,424 | △23,424 | — |
| 計 | 109,415 | 20,138 | 17,590 | 26,835 | 173,979 | △23,424 | 150,554 |
| 営 業 利 益 又は営業損失(△) | △14,295 | 479 | △605 | 1,352 | △13,070 | 2,036 | △11,033 |

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日）

（単位：百万円）

| | 米州 | 欧州 | アジア | その他 | 計 |
|-----------------------|--------|--------|--------|-----|---------|
| I 海外売上高 | 21,005 | 16,878 | 37,525 | 768 | 76,177 |
| II 連結売上高 | — | — | — | — | 150,554 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 | 14% | 11% | 25% | 1% | 51% |

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な国の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、期首利益剰余金が1,330百万円減少しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月21日～12月20日)

(単位:百万円)

| 科目 | 前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額 |
| I 売上高 | 272,379 |
| II 売上原価 | 196,705 |
| 売上総利益 | 75,674 |
| III 販売費及び一般管理費 | 55,449 |
| 営業利益 | 20,224 |
| IV 営業外収益 | 1,366 |
| 受取利息及び配当金 | 478 |
| 持分法投資利益 | 292 |
| 雑収入 | 595 |
| V 営業外費用 | 2,103 |
| 支払利息 | 752 |
| 為替差損 | 752 |
| 雑支出 | 597 |
| 経常利益 | 19,488 |
| VI 特別利益 | 67 |
| VII 特別損失 | 1,446 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 18,108 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,939 |
| 法人税等調整額 | 2,101 |
| 少数株主利益 | 260 |
| 四半期純利益 | 9,807 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年3月21日～12月20日)

(単位:百万円)

| 区分 | 前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期) |
|--------------------------------|-------------------------------|
| | 金額 |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 18,108 |
| 減価償却費 | 5,879 |
| 売上債権の増減額 | 14,567 |
| たな卸資産の増減額 | △15,821 |
| 仕入債務の増減額 | △709 |
| 法人税等の支払額 | △14,306 |
| その他 | 1,124 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,841 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産等の取得による支出 | △6,891 |
| 有形固定資産等の売却による収入 | 34 |
| 投資有価証券等の取得による支出 | △2,029 |
| 投資有価証券等の売却による収入 | 8 |
| その他 | △381 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,258 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 | 3,689 |
| 長期借入による収入 | 661 |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,711 |
| 親会社の配当金の支払額 | △2,897 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △151 |
| その他 | △15 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,425 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,038 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | △3,880 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,864 |
| VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加 | 1 |
| VIII 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,985 |

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

平成21年3月期第3四半期(自平成20年3月21日 至 平成20年12月20日)

(単位:百万円)

| | モーション コントロール | ロボット | システム エンジニアリング | 情報 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|--------------------------|-----------------|--------|------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 | 130,476 | 90,760 | 29,804 | 15,628 | 5,709 | 272,379 | — | 272,379 |
| (2)セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 13,045 | 460 | 1,545 | 2,361 | 5,565 | 22,978 | △22,978 | — |
| 計 | 143,522 | 91,221 | 31,349 | 17,990 | 11,274 | 295,358 | △22,978 | 272,379 |
| 営業費用 | 130,916 | 85,978 | 29,931 | 17,544 | 10,760 | 275,131 | △22,977 | 252,154 |
| 営業利益 | 12,605 | 5,243 | 1,417 | 445 | 513 | 20,226 | △1 | 20,224 |

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

[所在地別セグメント情報]

平成21年3月期第3四半期(自平成20年3月21日 至 平成20年12月20日)

(単位:百万円)

| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 売上高 (1)外部顧客に対する売上高 | 160,077 | 33,758 | 43,547 | 34,996 | 272,379 | — | 272,379 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 44,063 | 248 | 341 | 5,879 | 50,532 | △50,532 | — |
| 計 | 204,140 | 34,006 | 43,889 | 40,876 | 322,912 | △50,532 | 272,379 |
| 営業費用 | 193,428 | 31,065 | 40,614 | 37,707 | 302,815 | △50,661 | 252,154 |
| 営業利益 | 10,712 | 2,940 | 3,275 | 3,168 | 20,096 | 128 | 20,224 |

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

[海外売上高]

平成21年3月期第3四半期(自平成20年3月21日 至 平成20年12月20日)

(単位:百万円)

| | 米州 | 欧州 | アジア | その他 | 計 |
|-----------------------|--------|--------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高 | 35,050 | 44,184 | 65,800 | 1,061 | 146,097 |
| II 連結売上高 | — | — | — | — | 272,379 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 | 13% | 16% | 24% | 1% | 54% |

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、英国等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。